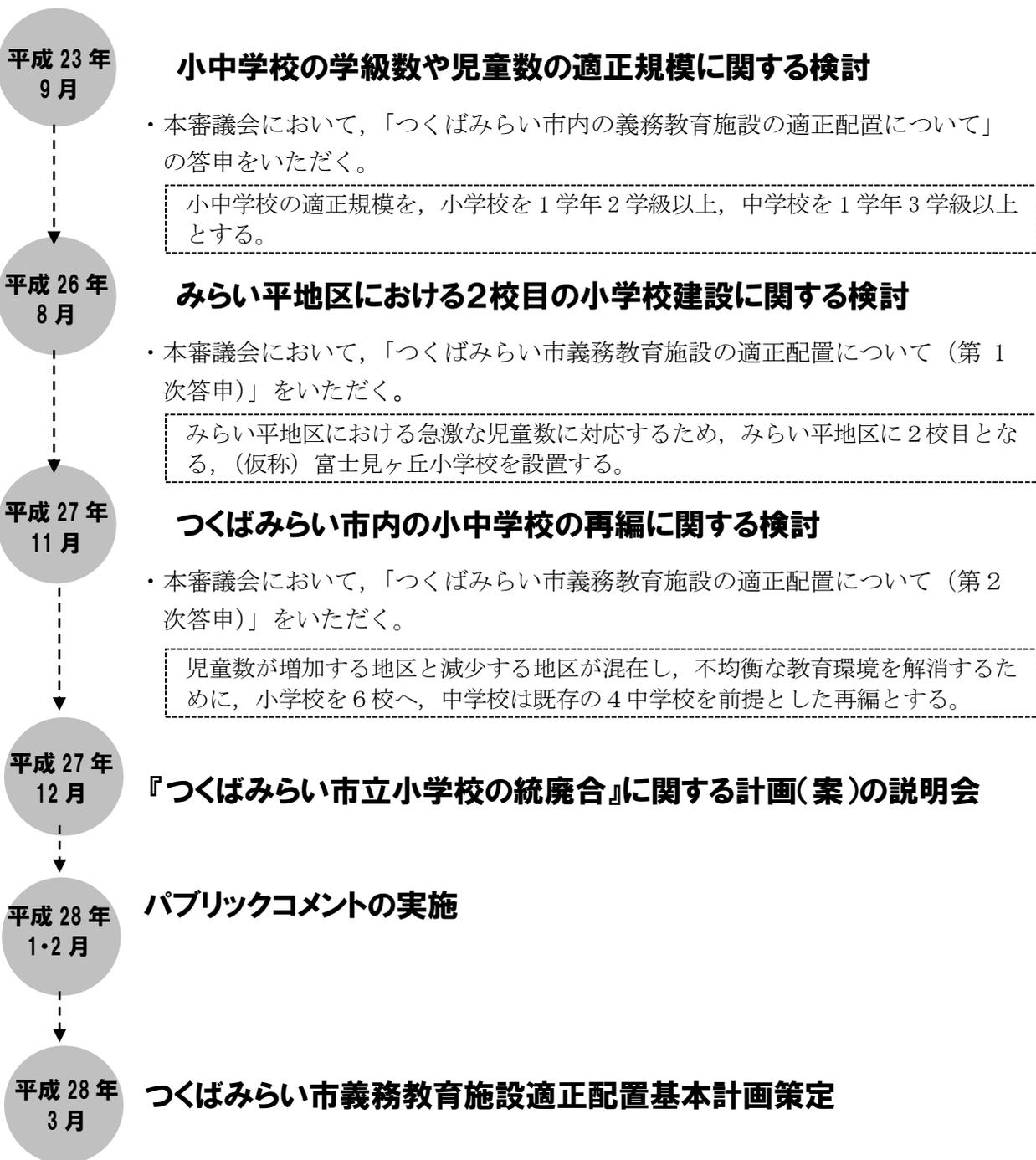


つくばみらい市立東小学校区における意見交換会
(これまでの経緯について)

平成28年11月23日

1 これまでの経緯について

つくばみらい市の義務教育施設に関する検討のため、平成 21 年に「つくばみらい市義務教育施設適正配置審議会」が立ち上げられました。同審議会におけるこれまでの検討経緯については、下記のとおりとなっています。



2 『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画（案）の説明会

義務教育施設適正配置計画に関して、市民の皆さんからのご意見を直に伺う機会となる「『つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会」の開催を行いました。

- ・日時：平成 27 年 12 月 3 日, 7 日, 8 日, 13 日, 14 日, 15 日, 17 日, 20 日
- ・場所：伊奈公民館(3 日～8 日, 20 日)・谷和原公民館(13 日～17 日)
- ・参加者数：482 人(延べ人数)

□寄せられた主な意見（抜粋）

谷井田小学校区 参加者数 27 人（平成 27 年 12 月 3 日(木)午後 7 時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none">・平成 21 年から学校適正配置の取組を行なっていることについて、時間がかかりすぎている。・今回の計画案の策定期間が短すぎることや住民説明会を先に行うべきではないかと思う。・統廃合における合意形成をスピーディーに進めるべきだと思う。
小張小学校区 参加者数 62 人（平成 27 年 12 月 4 日(金)午後 7 時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none">・小張小学校が持つ歴史性を鑑み、みらい平地区と小張小を含めた学区割によって調整を図るべきと思う。・過大な陽光台小の児童を小張小へ振分けることで、小張小の存続を学校との関係で、陽光台小学校に統廃合するのではなく、他から児童を通学させて小張小や周辺既存校へ割振るべきだと思う。・みらい平地区の児童が小張小に通いたい、まわりが陽光台小に通うので、やむなく通っている方もいるという。小張小が廃校になることについては納得がいかない。
板橋小学校区 参加者数 24 人（平成 27 年 12 月 7 日(月)午後 7 時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none">・今後の進め方についてももう少し踏み込んで示してほしい。統合検討委員会の設置の時期やそれらの会議の検討期間、目標年次までに統合できなかった場合の対応などについて、ある程度の目処がほしい。・適正配置審議会の委員構成やその中で検討していた議論の内容などをオープンにしていきたい。
豊小学校区 参加者数 50 人（平成 27 年 12 月 8 日(火)午後 7 時～ 場所:伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none">・まず発生している複式学級に対処すべきで、全体の統廃合に取り組むのは勇み足ではないかと思う。・統廃合によって豊小の校風が失われるのではないかと。地区住民の中でも豊小に愛着を持つ人も多い。そういった部分も考慮して検討いただきたい。・学校というのは大事なことで、学校を作るなら地域を見るのが一番。地域に何度も足を運んでいただき、地域住民の意見を踏まえて作ってもらいたい。・スクールバスを使う、道路の整備など様々な配慮事項があるが、結局は税金という形で徴収されることになるのではないかと。今のままであれば使わなくてよい金を使うことになる。

福岡小学校区 参加者数 76 人 (平成 27 年 12 月 13 日(日)午後3時～ 場所: 谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合を考える前に、人口減対策を講じておくべきではなかったか。 ・福岡小は高台にあり水害の面での安全性は高い。その面を考慮されずに統廃合の案を検討されているように思える。できれば、福岡小に谷原小・十和小を統合させるべきだと思う。 ・みらい平の児童を既存小学校へ割振ることも考えてほしい。逆に、福岡地区の子どもが(仮称)富士見ヶ丘小に通学することも考えてほしい。 ・学校に誇りをもってきた。地域に小学校だけは残してほしいと願っている。
十和小小学校区 参加者数 42 人 (平成 27 年 12 月 13 日(日)午後6時～ 場所: 谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・コストの面など全体メリットを考えれば、新規の小学校を造るより既存の小学校を活用するほうが良い。 ・スクールバス検討にあたっては、できれば 3km 未満でもバスが通るなら乗せていただきたい。
谷原小学校区 参加者数 28 人 (平成 27 年 12 月 14 日(月)午後7時～ 場所: 谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合の目標年度は平成 35 年とあるが時間がかかりすぎではないか。 ・「地域文化の継承」と謳っているが、統廃合するということは、廃校になる学校の地域文化もあると思う。
小絹小学校区 参加者数 11 人 (平成 27 年 12 月 15 日(火)午後7時～ 場所: 谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・新設校2校と既存地区の学校との施設的な平等性も考えてほしい。 ・みらい平地区にばかり税金を投入しているように見える。不公平感を感じる。
陽光台小学校区 参加者数 58 人 (平成 27 年 12 月 17 日(木)午後7時～ 場所: 谷和原公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・陽光台小と小張小が統合した場合、過大な学校の状況が常態化し、良くない教育環境が続くと思う。 ・例えば、小張小が廃校となった後、中学校として利用することなども考えてほしい。 ・現在の中学校の選択制が無くなるのであれば、早く学区を決めていただきたい。 ・+αの要素(特徴ある教育など)が既存の小学校にないと、みらい平地区から既存の学校に率先して通学意向を示すことは難しい。
三島小学校区 参加者数 59 人 (平成 27 年 12 月 20 日(日)午前 10 時～ 場所: 伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級を早急に解消し1クラス1学級のレベルにしていきたい。 ・統廃合の推進にあたっては、反対意見を十分に尊重することに留意してほしい。
東小学校区 参加者数 45 人 (平成 27 年 12 月 20 日(日)午後 2 時～ 場所: 伊奈公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が少ない状況は理解するが、それでも学校を残してほしいというのが正直なところである。 ・自分の子どもの頃を考えると、ある程度の人数がいてこそ学校だと思う。統合には賛成の意見である。 ・小学校がなくなってしまうたら、この地区はもっと人数が減り、過疎化が益々進むことになるのではないかな。 ・耐震化工事をするなど税金を使って綺麗にしたのであれば、これから先も学校として使っていけるようにしていきたい。

(参考) つくばみらい市立小学校の統廃合』に関する計画(案)の説明会(東小学校区)概要

日時：平成27年12月20日(日)14:00~15:30

出席：45名(子どもを除く)



□主な質問・意見の概要

内容		回答
1. 基本計画全般について		
1	板橋小と東小の統合について根拠を教えてください。	学校区は地形的なことや距離が遠くなる場所は通学支援などをするを考えている。
2	東小は人数は少ないが残してほしい。学校がなくなると人口が減るのではないかと。耐震化したので学校として使っていただきたい。	平成25年度のアンケートでは、(少数ではあるけれども)複式学級でも残してほしいというご意見があったということも事実ではある。 耐震工事もしているの、廃校となってもそのままの形で公共施設として残して行きたい。
3	学校跡地について、学校として使うことはないのか。	現時点では決まっていない。今の意見も含めて今後検討したい。
4	私が卒業時も1クラスだったが、当時も指針はなかったのか。	文部科学省から平成20年指針が出た。市の答申には、120人いれば統廃合しなくてもよいなどの付帯事項がある。ただ、少人数だと男女比のバランスが悪くなるなど、問題がある。
5	私は統合に賛成です。反対に手を挙げた人の意見を聞かせてほしい。	来年度以降話し合っていければと思う。
2. 児童数の将来数値について		
1	児童数の将来推計の根拠は何か。また、推計の精度は高いのか。	大字別の1歳階級ごとに過去の人口の推移を踏まえ、コーホート法(人口推計の手法としては一般的な手法)という方法で計算をしている。国でも使っている方法であり精度は高いと言える。
3. スクールバスについて		
1	スクールバスの予算は確保されているのか。	まだ、どこを通すか決まっていない。運行形態は今後の話し合いの中で決めていただくこととなる。過去の実例では1台約800万(大型)かかっていた。
2	スクールバスは何便だすのか。	朝は同じ時間帯だが、帰りは2つの時間帯で行っていた実例がある。